

特殊詐欺対策通信

特殊詐欺発生状況 ▶

令和4年1月～3月の状況

3月中	件数	金額	1～3月	件数	金額
R4年	14	約1,980万円	R4年	55	約1億3,140万円
R3年	11	約4,580万円	R3年	29	約8,020万円
増減	+3	約-2,610万円	増減	+26	約5,120万円

手口ピックアップ! ▶

3月も還付金詐欺被害が多発

還付金詐欺被害は、今年1月中は12件、2月中は7件を認知していますが、**3月中も7件の被害を認知し**、最も多い手口となっています。また、被害者の振込場所は、昨年まで金融機関店舗内ATMが多かったのですが、令和4年は商業施設等の**金融機関店舗外ATM**での振込みが多くなっています。

振込場所（ATM）の店舗内外別件数

	令和3年	令和4年1～3月
金融機関店舗内	24	14
金融機関店舗外	10	24
合計	34	38

※ 延べ件数であるため、被害件数と合致しない

男性被害も認知

還付金詐欺の被害者は、令和3年中から令和4年2月中まで、全て女性でしたが、3月中は**男性も被害**に遭っています。

岡山県では、**特殊詐欺被害防止条例**により、**ATMコーナーでの携帯電話の利用を避ける**よう定めています。また、県民には**特殊詐欺被害が疑われる場合には、警察官等に通報**するなどの適切な措置をお願いしています。

トピックス ▶

特殊詐欺被害の未然防止

3月中、二川郵便局、備北信用金庫落合支店等では、電話をかけながらATMを操作していた利用者に職員が声をかけたことにより還付金詐欺被害を未然に防止することができました。また、セブンイレブン倉敷南畝6丁目店、ローソン備前伊部久保田店等では、電子マネーカードを購入しようとした来店客に店員が声をかけたことなどにより、架空料金請求詐欺被害を未然に防止することができました。このほかにも、金融機関やコンビニエンスストアで合計20件の特殊詐欺被害を未然に防止することができました。

ココに「技あり」!

「ATMでは携帯電話をしない、させない」「ATM+携帯電話=詐欺」というキーワードを覚えていたからこそ、被害に会う直前に積極的な声掛けを行うことができた好事例です。